令和２年度使用小学校用教科用図書の採択結果等について

種　目	発行者	採　　択　　理　　由
国　語	東書	学ぶ道筋（学習過程・手順・学習方法）を丁寧かつ明確に示し、児童の主体的な学びを引き出す工夫をしている。また、説明的文章として「防災・安全」「平和と共生」「情報化社会」「科学技術の発展」といった内容を取り上げており、現代的課題に対応している。さらに、伝統的な言語文化を取り上げた小教材「季節の足音」や２年生以上の各巻にある様々な伝統・文化の紹介など、日本の美しさや豊かさに触れる工夫がある。全体的に、写真・挿絵・図表などが効果的に使われており、興味・関心を高めたり内容理解を深めたりするのに有効である。特に、１年生の入門時には写真や挿絵がシンプルで、活動も分かりやすく提示されている。言語活動の充実についても、記録・説明・報告・紹介・討論などの言語活動を系統的に位置付けてあり、教科横断的な学習がイメージしやすい内容となっている。
書　写	日文	全学年で書く姿勢・用具の置き方や準備・用具の後始末の仕方を写真やイラストを用いて丁寧に説明している。また、正しい姿勢や運筆が擬態語や擬音語で強調しながら示してあるため、分かりやすく、基礎・基本を定着させるための工夫がある。さらに、学習の進め方として４つの学習の流れやポイントが示されており、主体的な学びを引き出す工夫もみられる。特に、「ことばのまど」のコーナーでは、主体的な学びにつながるよう、自分で考えたり自己選択したりする内容が取り入れられている。さらに、毛筆教材数・硬筆教材数ともに多く、様々な内容に触れることができる。
社　会	教出	基礎的・基本的な内容が定着できるよう単元末にはキーワードを枠囲みで用語を明示し、「学びのてびき」として資料の読み取り方が定着できるよう繰り返し表示されている。見方・考え方を働かせる場面では、「この時間の問い」として課題を示し、吹き出しを通して思考の広がりや関連付けが示されるよう構成され、「次につなげよう」として次時への関連付けを行っている。また、写真や図表などの資料が効果的に掲載され、児童が活用しやすく、多くの資料に比較・関連付けて思考できるように工夫している。さらに、まとめの段階の手順が明確であり、児童の視点に立った多様なまとめが提示してあるなど、言語活動の参考になる。
地　図	帝国	地図に関する基礎的な見方、地図帳の基本的な使い方のページが充実しており、構成や配列、表記などの工夫により、３年生からの地図活用を促すことができるようにしている。吹き出しや地図に関する問題形式で児童の視点に立った課題により、地図から見出せる大切なことを示すとともに、児童に示唆したり気付かせたりするなど興味・関心を高めながら進んで学習することができる。さらに、地図上で本市が明瞭に表示されており、地図全体もはっきりした色づかいや精選された記号、地名表記の適切な大きさ、太さにより、全体的に地図を読み取りやすくしている。
算　数	東書	入門期における児童の発達段階を考慮し、２単元をＡ４別冊の中とじの形式で分冊にしている。このことで、１年生児童の中心的な操作活動であるブロック操作を容易にしている。また、ノート指導がまだ難しい時期において、書き込みの容易さを実現するとともに掲載されている練習問題が多い。また、全学年において児童がつまずきやすい学習に対して、習熟の程度に応じた問題を掲載し、デジタルコンテンツ等により丁寧に説明している。また、学習のまとめ

		や振り返り場面において、「数学的な見方・考え方」をマークで示して顕在化し、児童が深くかつ系統的に学べるようにしている。
理　科	教出	児童の気付きによる問題発見が仕組まれている。また、実験や観察の問題に対する結論が明確であり、結論に基づく補足や説明、或いは、次の学習へのステップを枠外で説明してあるため、思考を整理しやすい。更に、結果をもとに分析して考察する力や見通す力の育成が図られるような児童の対話場面が掲載されている。
生　活	日文	育成すべき三つの柱に基づいた学習のめあてを明確に示し、教師には押さえるべきポイントや評価が、児童には何を学ぶのかが分かる工夫をしている。スタートカリキュラムでは、幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿に対応させ、児童が活動をイメージしやすい写真で構成され基礎・基本の定着を図る工夫がされている。主体的に学習に取り組む工夫では、教科書の使い方の説明や課題解決型の学習展開、自主学習の参考になる資料掲載、児童に植物の成長過程が一覧できる「やまおり」加工のしかけ等、児童に主体的に学びを促す工夫が豊富にある。昔の遊びや自然を対象にした遊びでは、他社の約２倍の資料が掲載され、ものづくりの内容が充実している。また、単元の導入に児童にワクワク感を抱かせるダイナミックな写真を使用し、学習意欲を高めるなど内容の表現・表記が工夫されている。また、見開き２ページを使い比較しやすくなる工夫がされている。言語活動の充実では、巻末の「ちえとわざのたからばこ」で、具体例がイラストで豊富に示され、また板書を中心にした多様な表現方法や話合いの場が例示されており、児童が活動をイメージしやすい工夫がされている。
音　楽	教芸	系統性や発達段階に応じた題材のまとまりがあり、基礎的・基本的な内容が無理なく定着できるように工夫されている。また、題材の中には、発展的に学習できるような内容も掲載されている。さらに、感じたことや気付いたこと、楽器を選んだ理由等、根拠や気付きを記述する欄が設けてあることや、絵譜や挿絵を用いた説明などが充実しており、それらを活用することで、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。
図画工作	開隆堂	巻末に「造形の引き出し」を設け、表現に必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明している。題材のページにも作り方や用具の使い方の説明を図解で入れたり、制作の順序を写真で示したりしている。さらにＱＲコードを読み取ると使い方を動画で見ることができる等、ＩＣＴを活用して基礎的・基本的な内容を確認できるよう工夫されている。各題材ページには、配慮する内容を「安全」の囲みを設けて具体的に示し、安心して造形活動ができるようにしている。また、活動中の児童の写真に工夫や気付き、思考の内容を吹き出しで表し、発想・構想のヒントになるようにしている。さらに児童がコミュニケーションをとりながら作品を制作していく題材を取り入れ、友達の考えを聞いたり自分の考えを伝えたりしながらアイディアを出し合う様子を吹き出しで示し、思考、判断、表現を促す工夫をしている。吹き出しの背景を無地にするなど、カラーユニバーサルデザインの考え方を取り入れたり、短文で意味がとらえやすい表記にしたりするなど、誰にでも使いやすい表現・表記の工夫がされている。
家　庭	東書	どの題材もリード文で学習内容の概要を示し、問題解決的な学習の流れを３ステップで構成している。児童が主体的に学習の仕方を身に付けることができるように工夫している。また、児童が基本的な技能を身に付けるための挿し絵や実物大の写真資料などを豊富に示している。

保　健	東書	課題意識をもたせるための写真やイラストを多用するとともに、自分の生活を振り返って書く活動を多く設けており、児童の主体的な学習を引き出しながら基礎・基本を定着させる工夫がされている。また、各時間、キーワードを書き込む欄を１ページ設け、学習したことを生活に活かすための資料を各時間のまとめの欄に掲載しているなどの工夫がある。
英語	東書	各単元ともコミュニケーション活動をゴールに設定することで、学習の必然性と意欲を高め、さらに世界を広げていく単元構成になっている。また、４線入単語リストやユニットごとの基本表現リスト、書き順付アルファベット表やミシン目付コミュニケーションカードなど、学習を補助する細かい配慮がなされている。
道徳	東書	いじめ問題や情報モラル等学年段階に応じて時代に合ったテーマを取り上げ、ユニット式の教材を取り扱いじっくり向き合えるような構成に工夫されている。また、児童の多様な考えを引き出す活動型教材や、コミュニケーション活動を通して人間関係の構築につなげる学習活動ページを全学年に掲載している。そして、冒頭に問題の焦点化を図る考えるポイント、話合いの手引きなどを示し、巻末付録に、折り込みを使った紙面で、多数の写真や資料を掲載し、他の教科の学習や実生活と関連した内容を取り上げている。さらに、評価にも生かせる振り返りページは、１時間の授業ごとに自己評価をしたり１年間を振り返ってまとめたりするだけでなく、ポートフォリオ評価に活用できる切り取り式シートを設けている。